

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 インストールガイド

メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 - 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 について.....	4
2 システム要件.....	6
管理システムのシステム要件.....	6
管理対象システムのシステム要件.....	7
3 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 のダウンロードとインストール.....	8
4 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 へのアップグレード.....	11
5 Nagios Core 向け Dell EMC Plug-in バージョン 2.1 のアンインストール.....	14
6 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス.....	15
7 関連マニュアル.....	16

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 について

本ガイドでは、Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 のソフトウェア要件、システム要件、インストール手順、アップグレード手順、アンインストール手順を説明します。

このプラグインは、Nagios Core で管理されている環境で Dell EMC デバイスを監視する機能を提供します。このプラグインにより、全体のおよびコンポーネントレベルでの正常性監視を含め、ハードウェアレベルで Dell EMC デバイスを完全に把握できます。このプラグインは、Dell EMC デバイスの基本的なインベントリ情報とイベント監視機能も提供します。また、さらなるトラブルシューティング、設定、および管理アクティビティのために、対応 Dell EMC デバイスの 1 対 1 ウェブコンソール起動もサポートしています。

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 は、次の Dell EMC デバイスをサポートしています。

- 第 12 世代以降の PowerEdge サーバ : Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller (LC) を使用したエージェントフリーメソッド経由
- Datacenter Scalable Solutions (DSS)
- ハイパーコンバードインフラストラクチャ (HCI) プラットフォーム : Dell EMC VxRail™、Dell EMC XC シリーズ
- PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、PowerEdge VRTX シャーシ、および PowerEdge M1000e シャーシ
- EqualLogic PS シリーズストレージアレイ、PowerVault MD 34/38 シリーズストレージアレイ、および Compellent ストレージアレイ

デバイスサポートの詳細については、『*Dell EMC OpenManage Plug-in Version 2.1 for Nagios Core User's Guide*』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド) の「Support matrix」(サポートマトリックス) を参照してください。

表 1. 主な機能

特長	機能
デバイス検出	Dell EMC デバイスを検出します。検出が完了すると、デバイスごとにホスト定義とサービス定義が作成されます。 iDRAC with Lifecycle Controller 経由での Dell サーバの検出には、SNMP プロトコルまたは WSMAN プロトコルを選択できます。ただし、Dell EMC ストレージの検出には SNMP プロトコルを、Dell EMC シャーシの検出には WSMAN プロトコルを使用します。
デバイス情報	デバイス検出が正常に行われると、検出されたデバイスに関する情報(サービスタグ、ファームウェアバージョン、デバイス名、デバイスモデルなど) が表示されます。この情報は、Nagios Core コンソールの Hosts (ホスト) または Services (サービス) ビューで表示できます。 デバイスサービスとそれらの説明については、『 <i>Dell EMC OpenManage Plug-in Version 2.1 for Nagios Core User's Guide</i> 』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド) の「 Device Information 」(デバイス情報) を参照してください。
Dell EMC デバイスの全体的な正常性の監視	Dell EMC デバイスの全体的な正常性を監視します。
Dell EMC デバイスのコンポーネントレベルの正常性	Dell EMC デバイスのコンポーネント (物理ディスク、電源装置、温度プローブ、電圧プローブなど) の正常性を監視し、各コンポーネントに関する情報を表示します。 Dell EMC デバイスのコンポーネントレベルの正常性の詳細については、『 <i>Dell EMC OpenManage Plug-in Version 2.1 for Nagios Core User's Guide</i> 』(Nagios Core 向け Dell

特長	機能
SNMP アラートの監視	<p>EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド) の「Monitor Component Health of Dell EMC Devices」(Dell EMC デバイスのコンポーネント正常性の監視) を参照してください。</p> <p>Dell EMC デバイスの SNMP アラートを監視します。この機能は、最後に受信した SNMP アラートのみを表示します。</p> <p>受信したすべての SNMP アラートを表示するには、Nagios Core コンソールで Reports (レポート) > Alerts (アラート) > History (履歴) の順に移動します。</p> <p>それぞれのアラートを迅速にトラブルシューティングするため、SNMP アラートに対応する、サポート対象の Dell EMC デバイスのアラートナレッジベース (KB) 情報を表示することもできます。</p> <p>詳細については、『<i>Dell EMC OpenManage Plug-in Version 2.1 for Nagios Core User's Guide</i>』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド) の「Knowledge Base (KB) messages for the generated alerts」(生成されたアラートのナレッジベース (KB) メッセージ) を参照してください。</p>
Dell EMC デバイス固有コンソールの起動	<p>サポートされている Dell EMC デバイスのトラブルシューティングと管理をさらに行うため、それぞれの Dell EMC 1 対 1 コンソールを起動します。</p>
保証に関する情報	<p>サポートされている Dell EMC デバイスの保証情報を監視および表示します。詳細については、『<i>Dell EMC OpenManage Plug-in Version 2.1 for Nagios Core User's Guide</i>』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド) の「Warranty information for Dell EMC devices」(Dell EMC デバイスの保証情報) を参照してください。</p>

このプラグインは、Nagios Core のバージョン 3.5.0 以降をサポートします。

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 をインストールする前に、Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals から最新のマニュアルをダウンロードして、この製品に関する最新情報を入手してください。

システム要件

プラグインのインストールを行う前に、使用しているプロトコルに応じて、次の要件を満たしていることを確認してください。

共通の前提条件：

- Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされており、すべての Nagios Core コンポーネントが機能している。
- Perl バージョン 5.8.8 以降がインストールされている。
- Net-IP Perl モジュールバージョン 1.26 以降がインストールされている。
- (オプション) Dell EMC の保証情報を表示するために、Java バージョン 1.6 以降がインストールされている。
- (オプション) インターネットプロトコルバージョン 6 (IPv6) を使用した管理下システムの監視のために、Socket6 Perl モジュールバージョン 0.27 以降がインストールされている。
- (オプション) SNMP アラートを受信するために、SNMP トラップトランスレータ (SNMPTT) バージョン 1.3 以降がインストールされている。最新バージョンの使用をお勧めします。
- (オプション) 次のような Dell EMC シャーシのコンポーネント属性情報を監視するために、対応するリモート RACADM ユーティリティがインストールされている。
 - Dell EMC シャーシファンステータスの速度 (RPM)
 - Dell EMC シャーシ電源装置ステータスの入力電流 (A)
 - Dell EMC シャーシ電源装置ステータスの入力電圧 (V)
 - Dell EMC シャーシ電源装置ステータスの出力電力 (W)
 - Dell EMC シャーシ I/O モジュールステータスのステータス

対応するリモート RACADM ユーティリティのダウンロードとインストールの詳細については、en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3205.racadm-command-line-interface-for-drac を参照してください。

SNMP を使用する場合：

Net-SNMP Perl モジュールのバージョン 6.0.1 以降がインストールされている。

WSMan を使用する場合：

Openwsman とその Perl バインディングがインストールされている。

① **メモ:** iDRAC デバイスの検出には、要件に応じて SNMP プロトコルまたは WSMan プロトコルを選択できます。ただし、Dell EMC ストレージの検出には SNMP プロトコルを、Dell EMC シャーシの検出には WSMan プロトコルを使用します。

トピック：

- [管理システムのシステム要件](#)
- [管理対象システムのシステム要件](#)

管理システムのシステム要件

管理システムの要件は、次のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.3 および RHEL 6.9 (64 ビット)
- Ubuntu 16.04.2 Server (64 ビット)

対応バージョンの RHEL および Ubuntu ゲストオペレーティングシステムをホストする ESXi ハイパーバイザーもサポートされています。

管理対象システムのシステム要件

管理下システムの必要条件は、次のとおりです。

表 2. Dell EMC デバイス用の対応ファームウェアバージョン

Dell EMC デバイス	ファームウェア	対応ファームウェアバージョン
第 12 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC7	2.41.40.40 および 2.40.40.40
第 13 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC8	2.41.40.40 および 2.40.40.40
第 14 世代 PowerEdge サーバ	iDRAC9	3.00.00.00
Datacenter Scalable Solutions	iDRAC8	2.41.40.40 および 2.40.40.40
HCI プラットフォーム	iDRAC8	2.41.40.40 および 2.40.40.40
PowerEdge M1000e シャーシ	CMC	5.22 および 5.21
PowerEdge VRTX シャーシ	CMC	2.23 および 2.22
PowerEdge FX2/FX2s シャーシ	CMC	1.42 および 1.41
Compellent ストレージアレイ	該当なし	7.1.12 および 6.7.40
EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	該当なし	9.1.2 および 9.1.1
PowerVault MD 34/38 シリーズストレージアレイ	該当なし	08.25.11.60 および 08.25.09.61

- SNMP を使用する場合は、それぞれのデバイスに SNMP が設定されていることを確認してください。
Nagios Core コンソールで SNMP トラップを受信する場合は、それぞれのデバイスに SNMP トラップ送信先を設定してください。

詳細については、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『Dell EMC OpenManage Plug-in Version 2.1 for Nagios Core User's Guide』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド) の「Appendix」(付録) を参照してください。

- WSMAN プロトコルを使用している場合は、デフォルトのサービスアカウントではなく、WSMAN サービスアカウントの使用が推奨されます。詳細については、Dell.com/esmmanuals にある各デバイスのユーザーズガイドの「ユーザーアカウントと権限の設定」を参照してください。

対応プラットフォームのリストについては、『Dell EMC OpenManage Plug-in Version 2.1 for Nagios Core User's Guide』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 ユーザーズガイド) の「Support Matrix」(サポートマトリックス) を参照してください。

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 のダウンロードとインストール

- 1 Dell EMC サポートサイト(Dell.com/support)または Nagios Exchange(exchange.nagios.org/)から、最新の Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 インストーラをダウンロードします。

インストーラは、**Dell EMC OpenManage Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz** という名前の `.tar.gz` ファイルとしてパッケージ化されています。

- 2 ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。
`tar -zxvf Dell EMC OpenManage Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz`

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell EMC OM Plugin 2_1 For NagiosCore_IG.pdf ファイル
- Dell EMC OM Plugin 2_1 For NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
- license_en.txt ファイル

- 3 `Dell_OpenManage_Plugin/Install` フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。
`./install.sh`

- 4 お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は **Y** を押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。

Enter を押して、デフォルト値 (**Y**) で続行することも可能です。

- 5 インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して **Enter** を押します。
または、**Enter** を押して、デフォルト場所である `/usr/local/nagios` を使用して続行することもできます。
入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。

- ① **メモ:** Net-IP、または Net-SNMP と Openwsman がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件が満たされていることを確認してから、インストール処理を再度開始してください。

その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。

- 6 **ライセンス契約** に同意する場合は **Y** を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。
Enter を押して、デフォルト値 (**Y**) で続行することも可能です。
- 7 **Y** キーを押して `escape_html_tags` 属性を「0」に設定、または **N** を押してデフォルト設定「1」で続行します。
Enter を押して、デフォルト値 (**N**) で続行することも可能です。

- ① **メモ:** Dell EMC プラグインの異なるインスタンスやエンティティを区別できるよう、マルチラインビューで読みやすくするため、`escape_html_tags` 属性を「0」に設定してインストールを続行することをお勧めします。

- 8 SNMPTT をインストールした場合、SNMPTT がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。
または **Enter** キーを押してデフォルトのファイルのパス `/etc/snmp/snmpptt.ini` で続行することもできます。SNMPTT が未インストールでこの手順をスキップする場合は、**Enter** を押します。

① **メモ:** このプラグインのインストール中には SNMPPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信しなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- SNMPPTT をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh trap

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

- 9 RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパスである /opt/dell/srvadmin/sbin/racadm を使用して続行することもできます。RACADM が未インストールでこの手順をスキップする場合は、**Enter** を押します。

① **メモ:** このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合しなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- RACADM をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh racadm

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

- 10 Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java を使用して続行することもできます。

① **メモ:** このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh java

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

これで、プラグインがインストールされました。

- 11 Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。

- 12 SNMPPTT をインストールしており、SNMPPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動して、snmpptt.ini ファイル内でセクション **TrapFiles** の下に次のエントリが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

- 13 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

- 14 SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。

```
service snmpptt restart
```

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 へのアップグレード

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 1.0 または 2.0 から Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 にアップグレードするには、次の手順を実行します。

- 1 Dell EMC サポートサイト(Dell.com/support)または Nagios Exchange(exchange.nagios.org/)から、最新の Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 インストーラをダウンロードします。

インストーラは、**Dell EMC OpenManage Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz** という名前の `.tar.gz` ファイルとしてパッケージ化されています。

- 2 ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。

```
tar -zxvf Dell EMC OpenManage Plugin_v2.1_Nagios_Core_A00.tar.gz
```

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell EMC OM Plugin 2_1_For NagiosCore_IG.pdf ファイル
- Dell EMC OM Plugin 2_1_For NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
- license_en.txt ファイル

- 3 **Dell_OpenManage_Plugin/Install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。

```
./install.sh
```

- 4 お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は **Y** を押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。

Enter を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

- 5 インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して **Enter** を押します。
または、**Enter** を押して、デフォルト場所である `/usr/local/nagios` を使用して続行することもできます。
入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。

- ① **メモ:** Net-IP、または Net-SNMP と Openwsman がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件が満たされていることを確認してから、インストール処理を再度開始してください。

その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。

- 6 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 へのアップグレードを確認するプロンプトが表示されたら、**Y** を押します。**Enter** を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

アップグレードしない場合は、他の任意のキーを押してインストールプロセスを終了します。

- 7 **ライセンス契約** に同意する場合は **Y** を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。

Enter を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

- 8 SNMPTT をインストールした場合、SNMPTT がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。
または **Enter** キーを押してデフォルトのファイルのパス `/etc/snmp/snmpd.ini` で続行することもできます。SNMPTT が未インストールでこの手順をスキップする場合は、**Enter** を押します。

① **メモ:** このプラグインのインストール中には SNMPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信しなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- SNMPTT をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh trap

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

- 9 RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパスである /opt/dell/srvadmin/sbin/racadm を使用して続行することもできます。RACADM が未インストールでこの手順をスキップする場合は、**Enter** を押します。

① **メモ:** このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合しなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- RACADM をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh racadm

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

- 10 Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java を使用して続行することもできます。

① **メモ:** このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh java

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

これで、プラグインがインストールされました。

- 11 Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。

- 12 SNMPTT をインストールしており、SNMPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPTT がインストールされているパスに移動して、snmptt.ini ファイル内でセクション **TrapFiles** の下に次のエントリが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

- 13 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

- 14 SNMPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPTT サービスを再起動します。

```
service snmptt restart
```

Nagios Core 向け Dell EMC Plug-in バージョン 2.1 のアンインストール

- 1 <NAGIOS_HOME>/dell/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
`./uninstall.sh`
- 2 アンインストールしてよいかを確認するメッセージが表示されたら、**Y** を押してアンインストールするか、**N** を押してアンインストール処理を終了します。
または、**Enter** を押して、アンインストールを終了することもできます。
- 3 アンインストール処理を続行するためのプロンプトが表示されたら、**Y** を押して続行するか、**N** を押してアンインストール処理を終了します。
または、**Enter** を押して終了することもできます。

① **メモ:** インストール中に `escape_html_tags` 属性の値を「0」に設定した場合は、<NAGIOS_HOME>/etc/cgi.cfg ファイルに移動してこの値を編集することにより、この値をデフォルト値である「1」にリセットすることができます。

これで、プラグインがアンインストールされました。

- 4 Dell EMC OpenManage Plug-in がアンインストールされたことを検証するには、<NAGIOS_HOME> フォルダに移動して、dell フォルダが削除されていることを確認します。
 - 5 Nagios Core の設定エントリを確認するには、Nagios Core がインストールされているパスに移動し、次のコマンドを実行します。
`<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg`
- 設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。
- 6 SNMPPTT をインストールしている場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動し、snmpptt.ini ファイルの **TrapFiles** セクションから次のエントリが削除されていることを確認します。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf
 - 7 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。
`service nagios restart`
 - 8 SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。
`service snmpptt restart`

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

次のリンクを使用して、必要なドキュメントにアクセスします。

- Dell EMC Enterprise システム管理マニュアル — [Dell.com/SoftwareSecurityManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC OpenManage マニュアル — [Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/esmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- iDRAC および Dell EMC Lifecycle Controller マニュアル — [Dell.com/idracmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC 保守ツールマニュアル — [Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals)
- Client Command Suite システム管理マニュアル — [Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- a [Dell.com/Support/Home](https://www.dell.com/support/home) に移動します。
- b **Choose from all products (すべての製品から選択)** をクリックします。
- c **All products (すべての製品)** セクションで **Software & Security (ソフトウェアおよびセキュリティ)** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **Enterprise Systems Management (エンタープライズシステム管理)**
 - **Remote Enterprise Systems Management (リモートエンタープライズシステム管理)**
 - **Serviceability Tools (保守ツール)**
 - **Dell Client Command Suite (デルクライアントコマンドスイート)**
 - **Connections Client Systems Management (接続クライアントシステム管理)**
- d ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

関連マニュアル

このガイド以外にも、デルサポートサイト (Dell.com/support/manuals) から次のガイドにアクセスできます。マニュアルページで **Software & Security (ソフトウェアおよびセキュリティ)** をクリックし、適切な製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

- *Integrated Dell Remote Access Controller 9 (iDRAC9)* バージョン 3.00.00.00 のユーザーズガイド
- *Dell XC シリーズハイパーコンバージドアプライアンスのマニュアル*
- *Dell EMC VxRail アプライアンスシリーズのマニュアル*
- *Integrated Dell Remote Access Controller 8 with Lifecycle Controller* ユーザーズガイド
- *Dell Integrated Remote Access Controller 7* ユーザーズガイド
- *Dell PowerEdge M1000e* 用 *Dell Chassis Management Controller* ユーザーズガイド
- *Dell PowerEdge VRTX* 用 *Dell Chassis Management Controller* ユーザーズガイド
- *Dell PowerEdge FX2/FX2s* 用 *Dell Chassis Management Controller* ユーザーズガイド
- *Dell Compellent* ストレージレイユーザーズガイド
- *Dell EqualLogic PS-Series* ストレージレイユーザーズガイド
- *Dell PowerVault MD* ストレージレイユーザーズガイド

www.nagios.org/documentation で、Nagios XI 関連のマニュアルも参照してください。